2018年
12月
21日
冬至

東風

仙北市立
生保内中学校長室報

〒 014-1201
仙北市田沢湖生保内
字武蔵野105－1
http://www.city.semboku.akita.jp/sc_obochu/index.html
e-mail:obochu@sc.city.semboku.akita.jp　TEL0187-43-1181　FAX0187-43-3632

冬至　とうじ

「冬至」は、新暦の12月21日・22日ごろで、最も日が短くなる日。これから日中の時間が少しずつ延びはじめます。

年末間近になり、本格的に雪も降り始めました。私の記憶にある昭和40年代には、10月の降雪も頻繁にあり中学校校門前の道路の除雪後の路肩に2メートルの雪壁がでてきて、その上を歩いてもさて往来がしやすいたのが思い出されます。降雪量は減ってきましたが、雪の中での生活は、こちらのほうがエネルギーが費やされます。保護者の皆さま、地域の皆さま、どうぞご自愛ください。

「冬休み前集会」が行われ、学校では、25日に1月14日までの「冬休み」となります。今年の振り返りとともに、新たな年への取り組みがなされます。特に、将来伝えるよう、子どもたちには、前向きな取り組みを見てあげたいと思います。

『今』の姿を見つめて欲しいと思います。また、子どもたちの役割（除雪等も含め）に、家庭内で話題とし、家族の一員（働き手）として考えの力も発揮してほしいと考えます。

三年生にとっては、正に踏ん張りどころ。人生における、最初の進路選択が求められます。

PTA授業参観

12日のPTA参観日には多くの方々に参加いただき感謝申し上げます。

各学年の懇談では、生活・学習の状況や進路、修学旅行、スキー教室等々の状況を提起させていただきました。

また、千葉薫氏（eーネットキャラバン運営協議会認定講師）の講演では、SNSに関わる諸事情や問題、対処についてご示唆いただいたところです。

秋田県内の中学生の携帯（スマホ等）所持率は約50％ということです。家庭内ルールを定めることも推奨すると共に、親子で認識（解釈）に大きなズレが生じていることを推認し、対応くださるようお願いいたします。

秋田藩戊辰戦争を学ぼう

12月7日、田沢湖図書館事業として、畑中康博先生（秋田県立博物館学芸主事）による『150年前の戦争』を演題とした講演会が本校体育館で開催されました。中学生を対象に本校生徒と一般参観者約150名が聞き入りました。

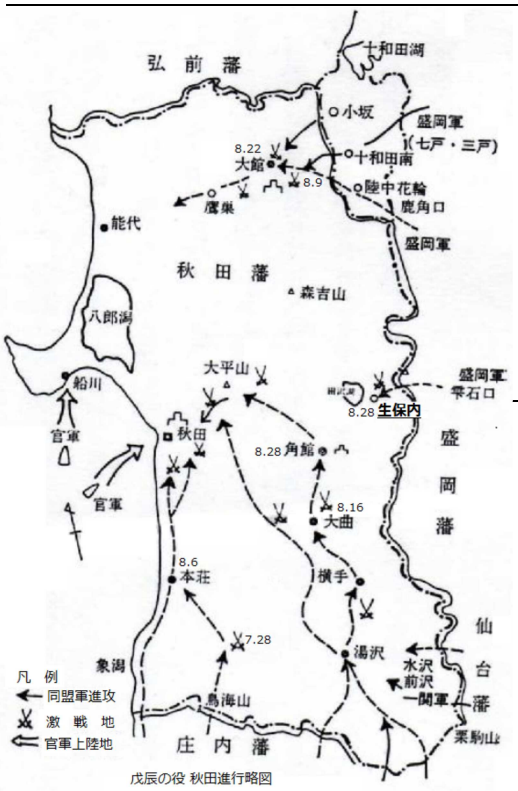
『戊辰戦争』を学ぼう」

戊辰戦争時、奥羽列藩同盟を離脱して新政府軍に参加した秋田藩などが、鹿児島藩・佐賀藩・山口藩などと共に、庄内藩・盛岡藩を中心とする列藩同盟軍を相手に繰り広げた一連の戦いを秋田戊辰戦争（1868年）とし、今から150年前の出来事であることを確認し、【戦争の現実、人が人を殺す現実を見る】という視点での話でした。「行軍の実際」「戦場生活の実際」「戦場に耐えられない人間の姿」「戦線離脱」等々、その悲劇・現状を垣間見る事ができました。

何より、この生保内の地が古文書を通し、史実の表舞台になかなか表れないポイントを視点とした内容は、いろいろな思いが交錯する一時でした。

『戦争は政治権力の傲慢さや大国意識から起きる』との先生の言葉もズシリと響きました。

1868年8月28日、「生保内村の戦い」があったのです。



戊辰の役 秋田進行略図